

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

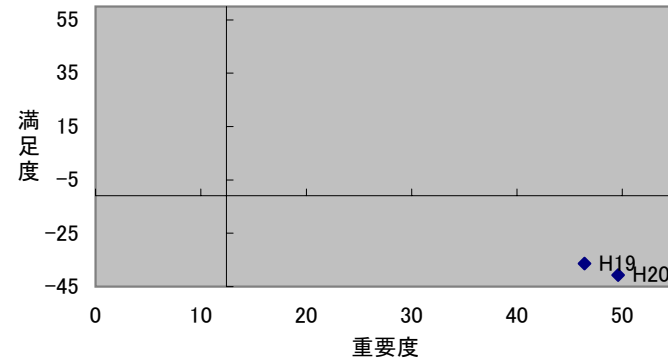
施策名 (小項目)	その他事務管理(監査委員)	コード	06-01-20	作成者	役職	監査事務局長
				氏名		川邊 巨
				電話		0869-64-1839

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	公正で合理的かつ能率的な市の行政運営の確保のため、違法、不正の指摘にとどまらず、事務執行の指導に重点を置いて監査等を実施し、市の行政の適法性、効率性、妥当性の保障を期す。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	住民ニーズの多様化、厳しい財政状況、急速な制度改革などにより、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化している。こうした中、監査にあたっては、合規性・合法性の監査に加え、経済性・効率性・有効性の監査の一層の強化が求められている。また、財政健全化法に規定する監査など、新たな業務への対応が求められている。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>法定監査・検査・審査の事務事業の推進</li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> </ul>	

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	46.4	49.6	
満足度(%)	-36.4	-40.7	



高  
↑  
満足度  
↓  
低

低 ← 重要度 → 高

平均

<見直し領域>  
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>  
現状の方向を継続

<検討領域>  
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>  
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う

調査結果に対するコメント、市民の反応等	地方自治法等に規定されている監査委員制度(業務)であり、今後とも継続して行う必要がある。
調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 定期監査の件数	件	31	26	26	26	26	26		年間の定期監査対象(部署)件数
	実績	31	26	26					
	達成率	100.0	100.0	100.0					
2 財政援助団体監査の件数	件	2	2	2	2	2	2		年間の財政援助団体監査対象(事業)件数
	実績	2	2	2					
	達成率	100.0	100.0	100.0					
3 工事監査の件数	件	2	2	2	2	2	2		年間の工事監査対象(事業)件数
	実績	2	2	2					
	達成率	100.0	100.0	100.0					
4	目標								
	実績								
	達成率								

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算 直接 事業費		
				H17			H18			H19					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1 監査委員事務	B	例月現金出納検査業務	法定事務	251	3,288	0.38	248	3,940	0.40	364	4,642	0.47	☆☆☆	\$\$\$	363
		決算審査業務	法定事務	613	4,680	0.50	387	3,200	0.35	377	3,461	0.41	☆☆☆	\$\$\$	371
		定期監査業務	法定事務	251	3,520	0.40	226	2,820	0.30	368	3,119	0.36	☆☆☆	\$\$\$	365
		財政援助団体監査業務	法定事務	251	1,992	0.22	120	1,544	0.17	179	772	0.09	☆☆☆	\$\$\$	176
		工事監査業務	法定事務	251	1,992	0.22	120	1,656	0.18	179	440	0.05	☆☆☆	\$\$\$	176
		全国都市監査委員会負担金	その他単市	110	176	0.02	226	264	0.03	60	0	0.00	☆☆	\$\$\$	60
		西日本都市監査委員会負担金	その他単市	3	176	0.02	141	264	0.03	3	0	0.00	☆☆	\$\$\$	3
		中国都市監査委員会負担金	その他単市	76	296	0.04	126	264	0.03	0	0	0.00	☆☆	人件費のみ	0
		県都市監査委員会負担金	その他単市	305	764	0.09	412	940	0.10	315	1,029	0.12	☆☆	\$\$	395
		請求に基づく監査業務	法定事務	0	0	0.00	241	3,152	0.32	120	257	0.03	☆☆☆	\$\$\$	120
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)		
				2,111	16,884	1.89	2,247	18,044	1.91	1,965	13,720	1.53			2,029

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
市	外部監査の実施	行政需要が複雑多様化する中、監査機能の充実、強化を図るうえで、公認会計士等の監査人による外部監査を実施すべきである。

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度 (中・長期目標に対する)	4	監査業務である予算の執行状況及び経営管理等における公正中立の立場で、指摘指導が図られている。また、適法性、効率性、妥当性を確保する目的は概ね達成できている。		
2 事業構成の適当性	4	事務事業の構成は、妥当である。		
3 施策の有効性 (評価年度の目標達成)	3	公正中立で合理的かつ効率的な行政運営を保障するために必要な施策であるが、さらなる監査水準の向上を図る必要がある。		
担当への指示 (今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)		行政需要がますます増大する中で、効率的な監査業務が実施できるよう監査計画の見直しとさらなる監査手法の検討が必要である。また、市民に対し、監査内容等をホームページに適時掲載するなど、監査の透明性を図る必要がある。		
二次評価者コメント 役職 氏名				基本施策への貢献度 <b>4 やや高い</b>